

全国共同利用センター利用負担金表1 (北海道大学～名古屋大学)

大学名	北海道大学	東北大学	東京大学								
中央処理装置 (メモリーサイズ)	HITACHI SR11000(5TB) 9000V Enterprise Superdome(64GB)	NEC SX-7(1792GB) SX-7C(640GB) TX7/i9610(1,536GB)	HITACHI SR11000/J1(128GB/ノード×44) *1ノードを論理分割して(8CPU*64GB)運用 SR8000/MPP(16GB/ノード×144)								
基本負担金	利用者登録 12,000円		パーソナルコース グループコース								
			<table border="1"> <tr> <th>＜コース1＞</th> <th>＜コース2＞</th> <th>＜コース3＞</th> </tr> <tr> <td>19,800円/年</td> <td>39,700円/年 52,900円/年 79,400円/年</td> <td>132,300円/年</td> </tr> </table>	＜コース1＞	＜コース2＞	＜コース3＞	19,800円/年	39,700円/年 52,900円/年 79,400円/年	132,300円/年		
＜コース1＞	＜コース2＞	＜コース3＞									
19,800円/年	39,700円/年 52,900円/年 79,400円/年	132,300円/年									
演算 負 担 金	<p>バッチ処理</p> <p>演算時間 150,000秒まで 年額 30,000円 演算時間 2,000,000秒まで 年額 100,000円 演算時間 20,000,000秒まで 年額 500,000円</p> <p>TSS処理</p>	<p>スーパーコンピュータ</p> <p>0.4円/秒</p> <p>並列コンピュータ</p> <p>0.1円/秒</p>	<p>基本セット</p> <p>並列実行ノード数 SR8000/MPPノード</p> <p>SR11000/J1 スカラージュブ可</p> <p>[39,700円/年]</p> <p>基本セット 並列実行ノード数 SR8000/MPPノード 制限なし</p> <p>SR11000/J1 スカラージュブ可</p> <p>[52,900円/年]</p> <p>基本セット 並列実行ノード数 SR8000/MPPノード</p> <p>SR11000/J1 スカラージュブ可</p> <p>[79,400円/年]</p> <p>基本セット 並列実行ノード数 SR8000/MPPノード</p> <p>SR11000/J1 スカラージュブ可</p> <p>[52,900円/年]</p> <p>並列実行ノード数 1ノード</p>								
プリンター 出力負担金	3円/枚 (レーザープリンター) 30円/枚 (カラープリンター) 300円/枚 (大判プリンター)	600円/枚(大判プリンター)	<p>基本セット 標準で 3,150円分出力可 単価 3円/ページ (レーザープリンター連続紙1枚、カット紙片面) 105円/枚 (超画質カラープリンター用紙)</p> <p>追加オプション 1オプションにつき 3,150円 (但し、標準で 3,150円分まで出力可)</p>								
ファイル 使用負担金	5メガバイトを超えたとき1ギガバイトにつき 月額 1,000円	0.1円/MB・日	<table border="1"> <tr> <th>＜コース1＞</th> <th>＜コース2＞</th> <th>＜コース3＞</th> <th>＜グループコース＞</th> </tr> <tr> <td>基本セット 長期ファイル /home 1GB /batch 10GB 短期ファイル /short/batch 10GB</td> <td>基本セット 長期ファイル /home 1GB /batch 10GB 短期ファイル /short/mpp-bt 1GB /short/batch 10GB</td> <td>基本セット 長期ファイル /home 2GB /batch 10GB 短期ファイル /short/mpp-bt 2GB /short/batch 10GB</td> <td>基本セット 長期ファイル /home 20GB /batch 100GB 短期ファイル /short/mpp-bt 20GB /short/batch 100GB</td> </tr> </table> <p>追加オプション 長期ファイル /home 10,500円/GB /batch 2,100円/GB 100GB超過 1,050円/GB 100GB超過分</p> <p>短期ファイル /short/mpp-bt 5,250円/GB /short/batch 1,050円/GB 100GB超過 525円/GB 100GB超過分</p> <p>*本センターWebページ参照</p>	＜コース1＞	＜コース2＞	＜コース3＞	＜グループコース＞	基本セット 長期ファイル /home 1GB /batch 10GB 短期ファイル /short/batch 10GB	基本セット 長期ファイル /home 1GB /batch 10GB 短期ファイル /short/mpp-bt 1GB /short/batch 10GB	基本セット 長期ファイル /home 2GB /batch 10GB 短期ファイル /short/mpp-bt 2GB /short/batch 10GB	基本セット 長期ファイル /home 20GB /batch 100GB 短期ファイル /short/mpp-bt 20GB /short/batch 100GB
＜コース1＞	＜コース2＞	＜コース3＞	＜グループコース＞								
基本セット 長期ファイル /home 1GB /batch 10GB 短期ファイル /short/batch 10GB	基本セット 長期ファイル /home 1GB /batch 10GB 短期ファイル /short/mpp-bt 1GB /short/batch 10GB	基本セット 長期ファイル /home 2GB /batch 10GB 短期ファイル /short/mpp-bt 2GB /short/batch 10GB	基本セット 長期ファイル /home 20GB /batch 100GB 短期ファイル /short/mpp-bt 20GB /short/batch 100GB								
磁気テープ ライブラリー負担金	ホスティングサーバー 1台につき 年額 10,000円										
その他の負担金	<p>その外のスーパーコンピュータ利用としてバック利用コースがある。</p> <p>バック利用コース</p> <p>基本サービス</p> <p>利用者番号 25個まで 年額 1,600,000円 利用者番号 50個まで 年額 1,900,000円 利用者番号 100個まで 年額 2,500,000円 利用者番号 500個まで 年額 4,000,000円 利用者番号 1,000個まで 年額 5,000,000円</p> <p>付加サービス</p> <p>ノード付加 ノード1台につき 年額 1,200,000円 ファイル付加 1.5テラバイトにつき 年額 100,000円</p> <p>消費税額 上記区分に従い算出した利用負担金の額を月ごとに集計した合計額に100分の5を乗じて得た額</p>										
備考	<p>(1) 一般利用コースにおいて利用できる大型計算機システムは、スーパーコンピュータ、計算サーバー、ホスティングサーバー、Webサーバー、ASPサーバー及びデータベースサーバーとする。</p> <p>(2) 利用負担金は、登録番号ごとに集計するものとする。なお、1月の合計額(消費税額を除く。)が1円以上100円未満の場合は、これを100円に切り上げ、消費税額を加算し、105円とする。</p> <p>(3) 基本サービスにおいては、スーパーコンピュータ利用に係るタイムシェアリングシステム、計算サーバー、Webサーバー、ASPサーバー、データベースサーバー及びダイヤルアップIP接続サービスを利用することができる。</p> <p>(4) 演算時間に係る経費の負担は、組み合わせて行うことができるものとする。</p> <p>(5) 演算時間の算出方法は、利用ノード数に経過時間(秒)を乗じて計算するものとする。</p> <p>(6) ファイル付加においては、表に掲げる定額を負担することにより、相当する容量のファイル利用に係る経費の負担は要しないものとし、当該ファイル付加に係る経費の負担は、組み合わせて行うことができるものとする。</p> <p>(7) バルク利用(スーパーコンピュータを研究グループで利用することをいう。)を希望するときは、複数の利用者でバルクグループを構成し、当該グループの代表者が申請するものとする。なお、バルク利用できるサービスは、演算時間、ファイル利用及びファイル付加とする。</p>	<p>利用期間は4月から当該年度サービス終了日までの1年間を基本とし、年度途中で利用登録を取り消した場合であっても負担金額の変更は行わない。 (5月以降の年度途中月から利用開始する場合の利用負担金額は本センターのWebページを参照)</p> <p>パーソナルコースの利用者は、別途届出により運用支援システムも利用することができる。</p> <p>本センターの示している金額は税込み金額である。</p>									
施行(運用)年月日	2006.4.1	2006.4.1	2005.4.1								

大学名	2006年4月現在 名古屋大学
中央処理装置 (メモリーサイズ)	FUJITSU HPC2500(11.5TB) HPC2500(512GB)

負担金の区分	利用負担金額												
基本負担金	利用登録1件につき年額10,000円												
追加負担金	経費の見込み等に基づく任意の金額(1,000円単位)												
各利用区分 共通負担金	上記各負担金で算出した額の総額に100分の5を乗じて得た額												
備考	<p>(利用負担金算定額の特例)</p> <p>1. 基本負担金を負担することにより、演算負担経費、出力負担経費及びファイル使用負担経費の総額(以下「実績額」という。)が20,000円に達するまで、利用を可能とする。</p> <p>2. 10月以降に利用登録する場合の当該年度の基本負担金は、1件につき5,000円とする。この場合において、その利用に係る実績額が10,000円に達するまで、利用を可能とする。</p> <p>3. 基本負担金を負担し、かつ、以下の左欄に掲げる追加負担金を負担するときは、追加負担金について利用した経費がそれぞれの右欄に掲げる金額に達するまで利用できるものとする。なお、利用に係る経費が支払った追加金額に達しない場合、その差額は、返還しないものとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>追加利用可能額</td> <td>追加負担金額</td> </tr> <tr> <td>1万円未満</td> <td>追加負担金額</td> </tr> <tr> <td>1万円～10万円未満</td> <td>追加負担金額の2倍</td> </tr> <tr> <td>10万円～50万円未満</td> <td>追加負担金額の3倍</td> </tr> <tr> <td>50万円～100万円未満</td> <td>追加負担金額の4倍</td> </tr> <tr> <td>100万円以上</td> <td>追加負担金額の5倍</td> </tr> </table>	追加利用可能額	追加負担金額	1万円未満	追加負担金額	1万円～10万円未満	追加負担金額の2倍	10万円～50万円未満	追加負担金額の3倍	50万円～100万円未満	追加負担金額の4倍	100万円以上	追加負担金額の5倍
追加利用可能額	追加負担金額												
1万円未満	追加負担金額												
1万円～10万円未満	追加負担金額の2倍												
10万円～50万円未満	追加負担金額の3倍												
50万円～100万円未満	追加負担金額の4倍												
100万円以上	追加負担金額の5倍												

経費の区分	経費の算定基礎額								
演算負担経費	<p>スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバー 演算時間1秒につき 0.1円に並列係数を乗じて得た額</p> <p>その他のコンピュータ 演算時間1秒につき 0.02円</p>								
出力負担経費	印刷出力1ページにつき 3円 カラープリンター出力1ページにつき 8円								
ファイル 負担 経 費 用	<p>ディスクファイル</p> <table border="1"> <tr> <td>100MB以下の場合</td> <td>徴収しない</td> </tr> <tr> <td>100MBを超え5TB以下の場合</td> <td>1日 20円</td> </tr> <tr> <td>1GBを超えた部分</td> <td>1GBにつき 1日 2円</td> </tr> <tr> <td>5TBを超える場合</td> <td>1日 15,000円</td> </tr> </table>	100MB以下の場合	徴収しない	100MBを超え5TB以下の場合	1日 20円	1GBを超えた部分	1GBにつき 1日 2円	5TBを超える場合	1日 15,000円
100MB以下の場合	徴収しない								
100MBを超え5TB以下の場合	1日 20円								
1GBを超えた部分	1GBにつき 1日 2円								
5TBを超える場合	1日 15,000円								
貸出しボリューム	1ボリュームにつき月額 200円								

備考	<p>1. 演算負担経費に係る並列係数は、以下の左欄に掲げる使用CPU数に応じて右欄に掲げる数値とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>使用CPU数</th> <th>並列係数</th> </tr> <tr> <td>1～15</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>16～32</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>33～64</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>65～128</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>129～256</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>257～512</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>513以上</td> <td>50</td> </tr> </table> <p>2. バッチ処理における並列ジョブの演算負担経費は、各CPU演算時間のうち最長時間及び並列係数により算定する。</p> <p>3. 会話型処理における演算負担経費は、1日単位で登録番号ごとに使用した演算時間を集計し、算定する。</p> <p>4. ファイル使用負担経費は、1日単位で登録番号ごとに使用量を集計し、算定する。</p> <p>5. 各区分の利用負担経費に1円未満の端数が生じるときは、これを切り上げる。</p>	使用CPU数	並列係数	1～15	1	16～32	2	33～64	3	65～128	5	129～256	10	257～512	20	513以上	50
使用CPU数	並列係数																
1～15	1																
16～32	2																
33～64	3																
65～128	5																
129～256	10																
257～512	20																
513以上	50																
施行(運用)年月日	2005.4.1																

全国共同利用センター利用負担金表2 (京都大学～九州大学)

大学名	京都大学	大阪大学
中央処理装置 (メモリーサイズ)	FUJITSU HPC2500 (512GB×12)	NEC SX-5/128M8 (1024GB)  Express 5800/1160Xa (4GB)
基本負担金	利用登録1件につき基本経費年額12,000円	利用者番号毎に10,000円 (登録時)
演算負担金	バッチ処理 スーパーコンピュータ使用の場合 0.1円/秒	スーパーコンピュータ 0.4円/秒
	TSS処理 スーパーコンピュータ使用の場合 0.1円/秒	スーパーコンピュータ 2円/秒 WS 基本負担金を含む
プリンター出力負担金	3円/枚 (モノクロプリンター) 30円/枚 (カラープリンター) 500円/枚 (大判プリンター)	4円/枚 200円/枚 (湿式カラープリンター)
ファイル使用負担金	0.1円/MB・日 (1GB迄) 0.01円/MB・日	ファイル使用量換算値 スーパーコンピュータ 0.01円/MB・日 ファイルサーバー 0.1円/MB・日
磁気テープライブラリー負担金		
その他の負担金	ホームページサービス利用 24,000円/年額 AVSサービス利用 20,000円/年額 プリ・ポストソフトウェアサービス利用 20,000円/年額	<p>〈フェアシェア定額制〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100万円/年 計算機資源のシェア率 1/130 (ファイルサーバー10GB含む)</li> <li>・200万円/年 計算機資源のシェア率 1/60 (ファイルサーバー30GB含む)</li> <li>・300万円/年 計算機資源のシェア率 1/30 (ファイルサーバー50GB含む)</li> </ul> <p>〈バジェット定額制〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10万円/年 利用限度額25万円まで利用できる。</li> <li>・50万円/年 利用限度額150万円まで利用できる。</li> </ul>
備考	スーパーコンピュータのバッチ処理における並列ジョブの演算経費は各CPUの演算時間のうち最長時間に並列係数を乗じたものとする。基本経費には、年24,000円の演算経費、ファイル経費および出力経費の総額が含まれる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 負担額に関する計測は、システム内蔵の方式によるものとし、端数が出た場合は切り上げる。</li> <li>2. 各負担金額に1円未満の端数が生じたときは、各負担額ごとに、これを1円に切り上げる。</li> <li>3. 複数CPUを使用した場合の演算負担額におけるCPUタイムの算出方法は、別に定める。</li> <li>4. ファイル使用負担額における1単位は、1メガバイトの情報量を表すものとする。</li> <li>5. ファイルサーバー使用時のファイル使用量250キロバイトまでは、負担金を免除する。</li> <li>6. 登録番号ごとに各負担金額 (共通負担経費を除く) を集計した1月の合計額が100円未満の場合は100円に切り上げ、これに共通負担経費を加算して負担経費の総額を105円とする。</li> <li>7. 別に定める試用制度による利用を認められた者は登録日から2週間以内で、各負担額 (基本負担額を除く) の合計額が20,000円に達するまで利用できるものとする。この場合において、負担額は免除する。</li> <li>8. 基本負担額には、スーパーコンピュータの30,000円までの演算負担額が含まれる。また、スーパーコンピュータ以外のアプリケーションサーバーなどのワークステーション (演算負担額なし) 及びPOP、NTP、PPPなどのインターネットサービスが利用できる。</li> <li>9. フェアシェア定額制については、規定の負担額以外に100万円/年単位の負担額を設定し、相応する計算機資源のシェア率及びファイルサーバー量が利用できる。</li> </ol>
施行 (運用) 年月日	2006.4.1	2004.4.1

大学名	九州大学		2006年4月現在	
中央処理装置 (メモリーサイズ)	FUJITSU VPP5000/64 (704GB) IBM eServer p5/595 (1984GB) COMPAQ Alpha Server GS320 (64GB)			
基本負担金	利用登録1件につき500円/月			
	演算負担金 バッチ処理 2円/秒 (5分迄) 1円/秒 (15分迄) 0.4円/秒 (15分以上) 会話型処理 2円/秒	スーパーコンピュータ	スーパーコンピュータ定額 1. 年間定額 2. 演算定額	スーパーコンピュータの利用 利用負担額 (年間) 利用可能負担金換算額 200万円 → 1,000万円 (年間)  利用負担額 利用可能負担金換算額 10万円 → 50万円
高性能演算サーバー	演算負担金 バッチ処理 0.02円/秒 会話型処理 0.02円/秒	高性能演算サーバー	高性能演算サーバー定額 3. 資源占有タイプ 4. 資源共有タイプ	<p>負担額-CPU数・割当メモリ量・割当ディスク容量</p> <p>240万円= 32CPU・128GB・1600GB 120万円= 16CPU・64GB・800GB 60万円= 8CPU・32GB・400GB 30万円= 4CPU・16GB・200GB 15万円= 2CPU・8GB・100GB</p> <p>利用負担額 (年間) 利用可能負担金換算額 Aコース 200万円→1,000万円 Bコース 100万円→ 500万円 Cコース 50万円→ 250万円 Dコース 30万円→ 150万円 Eコース 20万円→ 100万円 Fコース 10万円→ 50万円</p>
	ファイル使用負担金 2円/1MB・日 (100MBまで) 10円/100MB・日 (100MB超過分) 10GBを超える部分については負担金を徴収しない	スカラー並列サーバー		
演算負担金 バッチ処理 0.02円/秒 会話型処理 0.02円/秒	多目的サーバー			
ファイル使用負担金 無料=100MBまで・日 200円=100MB超過100GBまで・日 1,000円=100GB超過500GBまで・日 5,000円=500GB超過・日	プリンター並列サーバー			
プリンター出力負担金 会話型処理 0.02円/秒	プリンター並列サーバー			
ファイル使用負担金 2円/1MB・日 (100MBまで) 10円/100MB・日 (100MB超過分) 10GBを超える部分については負担金を徴収しない	金			
ファイル使用負担金 無料=100MBまで・日 200円=100MB超過・日	その他の負担金			
プリンター出力負担金 4円/ページ	ワークステーション負担金 ワークステーション 3円/分			
消費税 5%	備考			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演算負担金バッチ処理の項中スーパーコンピュータを並列プログラムで利用する場合の負担金は各演算時間中その最長の演算時間を基に算出。17並列以上のプログラムで利用する場合は各々その単価の2倍とする。</li> <li>・ファイル使用負担金は、スーパーコンピュータ、高性能演算サーバー、スカラー並列サーバー及び多目的サーバーそれぞれのディスク使用量を基にして算出する。</li> <li>・利用負担金は、利用者登録番号 (利用者番号に支払コードを加えたもの) 別に月毎に集計。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定額制の利用申請は、一登録番号につき1の年間定額から4の資源共有タイプまでの定額制の内一つとする。ただし、一人の利用者で登録番号が異なる毎に複数の利用申請ができる。</li> <li>・定額制負担金の利用負担金及び利用可能負担金換算額は消費税を含む。</li> <li>・定額制の利用は、定額制負担金表中の利用負担金を支払うことにより従量制負担金を基に算出した合計の利用額が当該年度内に利用可能負担金換算額になるまで利用できる。ただし、2の演算負担金は、従量制負担金の演算負担金に限り適用し、それ以外は従量制負担金を基に算出する。</li> <li>・利用額が利用可能負担金換算額を超えた場合は利用を打ち切りとする。ただし、1の年間定額、2の演算定額、4の資源共有タイプについて、申請期間中であれば追加申請を受け付ける。</li> <li>・利用額が利用可能負担金換算額に満たない場合の翌年度への繰り越しはしない。</li> </ul>	
施行 (運用) 年月日	2005.4.1		2005.4.1	